

2020年6月25日  
SCSK株式会社

---

## Microsoft Azure に対応した RADIUS サーバー「RADIUS GUARD® S」販売開始 ～「RADIUS GUARD® S」 Azure 対応版～

---

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者:谷原 徹、以下 SCSK)は、Microsoft Azure で動作する、RADIUS・CA・DHCP アプライアンスサーバー「RADIUS GUARD® S」の Azure 対応版を 2020 年 7 月 1 日から販売開始します。

### 1. 背景

「RADIUS GUARD® S」シリーズは、さまざまな業種・業界において主に無線 LAN 環境の不正接続を防止する認証基盤製品として好評を得ています。昨今の各種サービス基盤のクラウドサービス化にともない、導入が容易な認証基盤アプライアンスをクラウドサービスでも利用したいというマーケットニーズにお応えすべく、新たに Microsoft Azure で動作する「RADIUS GUARD® S」 Azure 対応版の販売を開始します。

これにより、サーバーサービス基盤のクラウドサービスへの移行に幅広く対応が可能となります。サービス維持コストの軽減や導入負担の軽減など、クラウドサービスのメリットを活用した認証基盤の構築によりセキュリティを高めることができます。

今後は一般企業だけでなく、2020 年 5 月に総務省が発表した「自治体情報セキュリティ対策の見直し」の中でも、自治体内部環境からパブリッククラウドへの接続による業務効率向上が明記されるなど、多くの場面でクラウドサービスの利用が見込まれています。

※ 総務省「自治体情報セキュリティ対策の見直し」について

[https://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01gyosei07\\_02000098.html](https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei07_02000098.html)

### 2. 「RADIUS GUARD® S」 Azure 対応版の概要

「RADIUS GUARD® S」は認証・DHCP アプライアンスサーバーとして、有線 LAN・無線 LAN・VPN と認証連携し、不正接続対策に必須なユーザー・デバイスごとのアクセス制御を実現します。本装置の導入により働き方改革などで進むオフィスの無線 LAN 環境や、新型コロナウイルス感染防止対策として広がるテレワーク環境の不正接続を防止する認証環境の構築や、セキュリティの強化が可能となります。また 1 台で複数のサービスを提供することにより、保守運用の負担とコストを低減します。

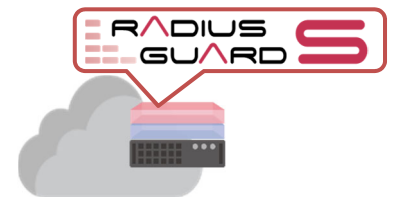
「RADIUS GUARD® S」は、これまでハードウェア版、バーチャルアプライアンス版を販売し、2020 年 4 月よりクラウドサービス向けの販売も開始しています。今回、Azure 対応版のリリースにより、クラウドサービス市場でトップクラスのシェアを占めるクラウドサービスでご利用いただくことが可能となり、SCSKが持つスキルやノウハウを組み合わせ、よりお客様に最適なインフラ環境の提供ができるようになります。



### 3. 「RADIUS GUARD® S」の特長

主な特長は以下の通りです。

- ・RADIUS 機能、LDAP 機能、CA(証明書)機能、DHCP 機能を 1 台に搭載した専用アプライアンス
- ・Web/IEEE802.1X 認証に対応し、外部 LDAP/Active Directory 連携や RADIUS プロキシ連携に対応
- ・証明書発行機能(CA 機能)をサポートし、スマートデバイスの証明書も発行可能
- ・ユーザー自身による利用 ID・端末・証明書申請、管理者による審査(許可/却下)、MAC アドレス自動登録
- ・ユーザーへのパスワード有効期限通知、未使用アカウントの自動削除、一括アカウント申請 & 発行など
- ・冗長構成に対応
- ・既存資産管理システムとの自動連携対応
- ・MAC アドレス自動収集が可能
- ・最大 20 万アカウント(ID、MAC アドレス、証明書)まで拡張が可能



### 4. 価格

¥590,000(税別:200ライセンス)から

### 5. 販売目標

初年度 20 社以上への販売を目指します。

### 6. 発売開始日

2020 年 7 月 1 日

## **SCSKのサステナビリティ経営**

SCSKグループは事業を通じた社会課題解決により、社会と共に持続的な成長を図る「サステナビリティ経営」を推進しています。社会が抱えるさまざまな課題の中で、特に重要と捉え、優先的に取り組む課題を7つのマテリアリティとして策定しており、本サービスは、特に「安心・安全な社会の提供」に資するサービスです。

－不正接続の防止、保守運用の負担軽減

・SCSKグループ、経営理念の実践となる7つのマテリアリティを策定

[https://www.scsk.jp/news/2020/press/management/20200428\\_2.html](https://www.scsk.jp/news/2020/press/management/20200428_2.html)

## **本件に関するお問い合わせ先**

**【製品・サービスに関するお問い合わせ先】**

SCSK株式会社

IT プロダクト&サービス事業本部 ネットワーク部

TEL: 03-5859-3034

E-mail : RG-info@ml.scsk.jp

**【報道関係お問い合わせ先】**

SCSK株式会社

広報部 後藤

TEL:03-5166-1969

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。

※Microsoft、Azureは、米国 Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。